

令和4年度も 健全な財政運営を維持しています

―赤字や資金不足なし―

二つの比率で健全度をチェック

地方公共団体の財政破綻を防ぐための健全度チェックと、財政状況をより明らかにするため「健全化判断比率」と「資金不足比率」の算定・公表が義務付けられています。

●健全化判断比率

チェックする指標には、赤字額、借金の返済割合、将来への負担などがあります。これらの

●資金不足比率
公営企業の資金不足額を料金

指標が早期健全化基準を上回ると、破綻への危険信号がとれる「財政健全化団体」になり、財政再生基準を上回った場合は、企業の倒産状態と同じ「財政再生団体」となります。

令和4年度の決算に赤字はなく、全ての指標で国が示す早期健全化基準を大きく下回りました(表①)。

市債(市が借りているお金)は 有利な地方債で

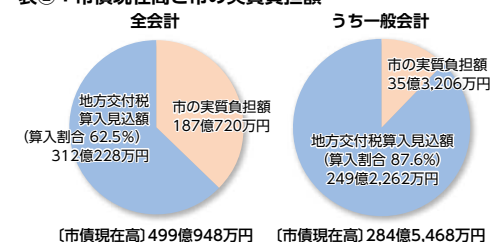
市では、お金を借りようとする際「実質公債費比率」や「将来負担比率」が高くないよう、地方交付税算入(国が借金返済額の一定額を交付税で配慮する)のある有利な地方債を選んで借りています(表②)。

収入の規模と比較して、経営状況の深刻度を表す指標です。令和4年度も公営企業会計(水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業)で「資金不足額なし」となり、経営健全化基準の20%を大きく下回りました。

表①：健全化判断比率

指標	算定結果	早期健全化基準	財政再生基準	指標の説明
実質赤字比率	赤字額なし	12.6%	20.0%	一般会計などで、どの程度の赤字があるかを示すもの
連結実質赤字比率	赤字額なし	17.6%	30.0%	市全体で、どの程度の赤字があるかを示すもの
実質公債費比率	9.5%	25.0%	35.0%	市債の返済などに、どの程度の負担が見込まれるかを示すもの
将来負担比率	なし	350.0%		将来、どの程度の負担が見込まれているかを示すもの

表②：市債現在高と市の実質負担額



決算における主な事業

事業名	決算額
物価高騰対策臨時特別給付金給付事業	4億5,695万円
生涯活躍のまち形成事業	1億4,669万円
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業	2億8,016万円
自立支援給付事業	13億 124万円
子ども医療費助成事業	2億 865万円
感染症予防対策事業	1億4,892万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	5億 866万円
水田農業構造改革推進事業	1億4,528万円
農水産業物価高騰対策支援金給付事業	1億3,614万円
商業活性化推進事業	8,285万円
中小企業等物価高騰対策支援金給付事業	2億3,005万円
飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業	5億 667万円
南堀之内バイパス整備事業	1億5,597万円
社会教育施設再編事業	1億7,839万円
サッカー場整備事業	2億 332万円

特別会計の決算

病院事業債管理特別会計	歳入	24億8,871万円
	歳出	24億8,871万円
国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	歳入	82億7,439万円
	歳出	79億2,612万円
国民健康保険事業特別会計(施設勘定)	歳入	7,544万円
	歳出	6,350万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	7億8,135万円
	歳出	7億6,695万円
介護保険事業特別会計	歳入	55億2,795万円
	歳出	52億4,797万円

公営企業会計の決算

水道事業会計	収益的収入	16億5,076万円
	収益的支出	14億4,246万円
	資本的収入	6,310万円
	資本的支出	2億2,248万円
公共下水道事業会計	収益的収入	5億9,539万円
	収益的支出	5億3,120万円
	資本的収入	1億9,518万円
	資本的支出	2億9,284万円
農業集落排水事業会計	収益的収入	8,272万円
	収益的支出	7,223万円
	資本的収入	2,681万円
	資本的支出	3,443万円

令和5年度上半期

予算の執行状況

市の財政事情を皆さんに知ってもらうため、令和5年度上半期(4月1日～9月30日)の予算の執行状況をお知らせします。



9月30日現在で、歳入の収入率は約47.3%、歳出の執行率は約37.9%です。

は、子育て家庭を経済的に支援する子ども医療費助成事業や、各種イベントの開催を支援して観光を振興する観光イベント事業などがあります。

問い合わせ先
財政課財政班

☎ 62・5316



子どもたちの健やかな成長を支援



旭市七夕市民まつり

令和5年度 一般会計予算の執行状況

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

歳出

予算現額	331億2,291万円	
支出済額	125億5,959万円	
執行率	37.9%	
支出済額(執行率)		
議会費	1億1,594万円	52.5%
総務費	15億3,634万円	36.2%
民生費	43億9,346万円	42.2%
衛生費	21億4,896万円	48.5%
農林水産業費	3億3,348万円	26.3%
商工費	3億3,472万円	68.7%
土木費	10億4,252万円	24.9%
消防費	5億4,978万円	31.8%
教育費	10億3,779万円	39.1%
その他	10億6,659万円	31.0%

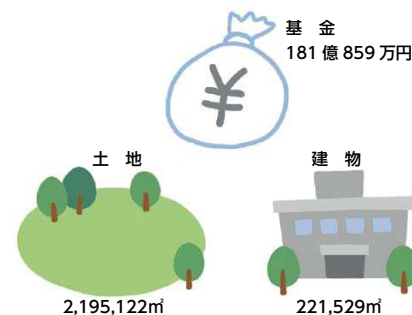
歳入

予算現額 331億2,291万円
収入済額 156億6,646万円
収入率 47.3%

収入済額(収入率)

60.1%	45億6,516万円	市税
54.0%	8億8,549万円	地方消費税交付金
67.3%	60億6,695万円	地方交付税
48.4%	9,649万円	分担金及び負担金
37.2%	1億1,866万円	使用料及び手数料
32.3%	14億7,437万円	国庫支出金
10.3%	2億2,690万円	県支出金
100.5%	14億2,712万円	繰越金
48.3%	4億5,933万円	諸収入
33.5%	3億4,598万円	その他

市の財産



市債(市が借りているお金)の現在高

事業内容	現在高
地域振興など	58億5,621万円
道路整備など	49億5,534万円
学校建設など	35億6,316万円
衛生施設など	20億7,477万円
農業基盤整備など	4億8,626万円
消防・防災など	4億5,346万円
保育所建設など	4億3,713万円
その他	1億1,779万円
臨時財政対策債	89億2,511万円
小計	268億6,922万円
病院事業	174億1,433万円
水道事業	5億 455万円
公共下水道事業など	25億 760万円
小計	204億2,648万円
合計	472億9,570万円